

文部時報

第六百六十七號

目次

卷頭 (明治天皇御製二首 昭憲皇太后御歌一首)

學校教育に於ける
映畫の利用に就て……………文部省社會教育
局成人教育課長 小田成就……………二

鍛鍊教育に就て……………宇都宮高等
農林學校長 松岡忠一……………一七

都市學童の體質
形態學的的研究……………體育研究所技師
醫學博士 鈴木繁……………二二

經濟統制立法の課題……………神戸商業
大學助教授 俵 靜 夫……………二八

近代の浪漫思潮に
文學上の一様相……………廣島文理科
大學教授 鈴木敏也……………三四

時局下に於ける
東京市に其見學……………東京市觀光課長
清水照男……………四二

昭和十二年度文部統計摘要(六)……………文部大臣官房文書課……………五三

告示……………文部省告示第四百四號(東京市立蒲田工業學校設置認可)……………同第四百五號(武藏高等

工科學校位置變更認可)……………同第四百六號(徐州日本尋常高等小學校恩給法指定)……………同第四百

七號(航空學講習會要項)……………同第四百八號(東京府立電機工業學校學科改正認可)……………同第四百

九號(重要美術品等認定)……………同第四百十號(史蹟名勝天然紀念物指定)……………同第四百十一號(國

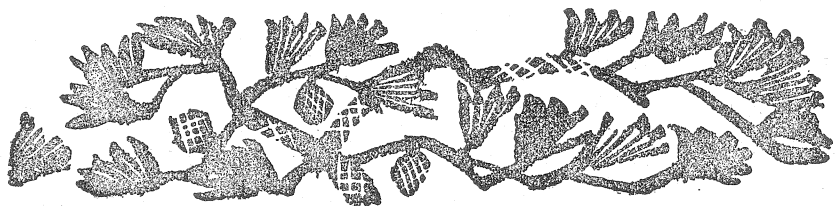
寶指定)……………五十六

通牒……………青年學校手帳樣式改正ノ件……………銃後後援強化週間實施ニ關スル件……………六十七

敘任及辭令(自昭和十四年九月一日至同十日公表ノ分等)……………六十八

彙報……………講師囑託並解囑……………高等學校高等科教員試驗檢定日時割等……………活動寫眞フィルム頒

布……………推薦映畫……………退職……………休職滿期……………死去……………八十二



時局下に於ける東京市と其見學 (一)

東京市觀光課長 清水 照 男

一、東京市の見學に就て

その總面積五百七十八方軒、推計人口六百四十五萬七千人を擁し東京市は今や世界屈指の大都市である。人口に於てはニューヨークの六百九十三萬人に次いで世界第二位であり、面積に於てはローマ、リオ・デ・ジャネイロ、ロスアンヂェルス、ベルリン、ニューヨーク、メルボルン、シドニー各都市に次いで世界第八位にある。

言ふ迄もなく東京市は我國の政治、經濟、文化の中心であり、更らに今次支那事變を通じて新東亞建設の大業の中心的活動地點となつたのである。今日に於ける東京市の見學は、我國の帝都であると同時に新東亞の中樞であるといふ明確な認識の下になさるべきものである。

東京の見學は先づ二重橋前における 皇居の遙拜を以つて

得る點に又東京見學の意義が見出さるゝであらう。

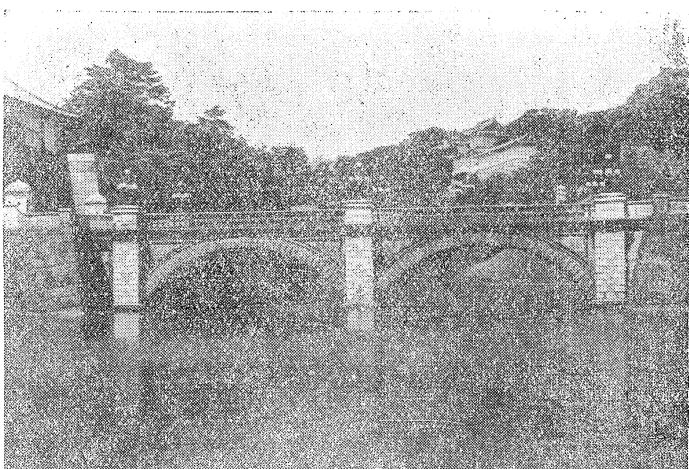
個々の施設を通じて、その精神を見、個々の具體的活動を通じて全體の組織とその有機性を理解することを東京見學に依つて學び得らるゝであらう。

實に東京市こそは帝都として更らに新東亞の中樞地として今日の日本の現實の姿を顯現するものである。東京見學の意義も亦こゝに要約せらるゝであらう。

我國今日の發展の礎を築き給はれた明治大帝の神鎮ります明治神宮に参拜し、靖國神社に詣きて聖戰に殲れて護國の神として祀らるゝ英靈に感謝することを得るは、東京見學による精神教育上の大きな收獲と言ふべきである。

以下、見學的立場から東京市の時局下に於ける姿を解説したいと思ふ。

時局下に於ける東京市と其見學 (清水觀光課長)



二重橋

二、東京市の行政

始まる。新東亞建設の本質は實に皇道精神の宣布にあることを思ふにつけても、この皇居奉拜によつて日本臣民たるの強き自覺と堅き覺悟を新たにすることを得る點に東京見學の重大意義がある。

時局下に於ける東京市の現況はどうか。勿論街々到處に戰時的風景は見られるのであるが、併し、一般市民は時局に極めて深い關心をもちつゝ落着いて夫々の生業に従事してゐる有様は常時と異る處がない。一時的昂奮性の浮足立つた姿は毫も見えない。この帝都の姿こそ日本の強みであると言はねばならない。

近代戰爭の特質は長期經濟戰であることにある。東京に於ける各種施設乃至機構が殆んど平時同様に活潑に運営されてゐる點に、都會人の自肅自戒の精神を見、社會活動の具體的場面を通して日本人の強靱さ、持久性といったものを共感し

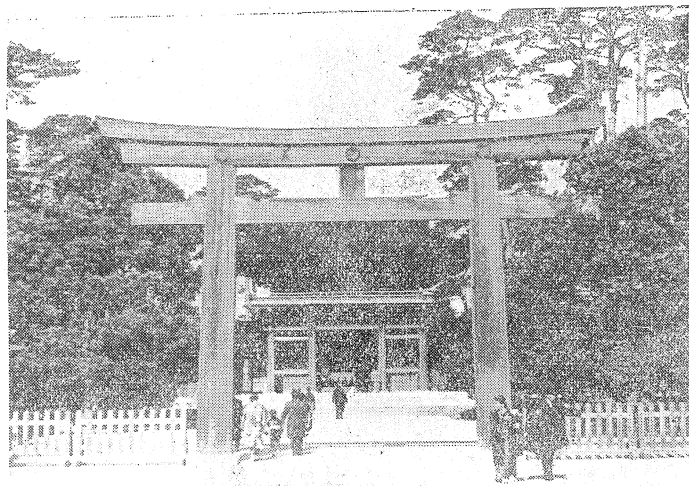
徳川幕府の下に於ける江戸の行政機構の組織は誠に整然たるものであつた。その大略は幕府の役人たる町奉行が老中の支配を受けて大綱を把り、町與力、同心が町奉行に直屬しその手足となり事務を執行し、別に自治の機關として町年寄があつて町奉行の監督の下に江戸總町中を支配し、その下に名主があつて總町中の若干町宛を支配し、更らにその下に五人組があつて、數人宛組合つて自ら治めてゐたのである。

現在の東京市は言ふ迄もなく自治體であつて、東京市役所の初めて開廳されたのは明治三十一年十月一日であつた。

市政を運営する機關は議決機關たる市會と執行機關たる市長とであるが、市會議員選舉の有權者數は昭和十二年に於て百十八萬を

越え、市長の下に於ける職員数は總數三萬七千六百餘人の多數である。市の區域は更らに三十五の區に分たれ（昭和七年の市域擴張前は十五區であつた）區は獨立の公法人であつて、區政は區會及區長の兩機關により運営されてゐる。

更らに東京市は我國の帝都として政治、經濟、文化の中樞を爲し、その市域は五百七十八万料の廣きに及び、その人口は六百四十五萬餘人の多きを擁し、實に内地人口の一割を占め、實に世界第二位の大都市である。東京市は複雑なる行政組織の下に施設經營する所頗る廣汎に亘り、莫大なる國家の委任事務の外に電燈、運輸、水道、港灣その他の市營事業、社會事業、保健事業、土木事業等各般の自治事務が充滿し、その財政力は遙かに府縣を凌駕してゐる現狀である。従つてその財政規模も亦尤大を極め、昭和十三



明治神宮

年度に於ける豫算總額は實に三億六千六百五十四萬圓に達してゐる。

このやうな大都市が、人口數萬の小都市と同一の法律の下に運営されるため種々の不便、矛盾が生じ弊害さへも生れつゝある。この問題を解決するためには急速に都制の施行が實現され、帝國の首都として將又新東亞の中樞都市としての實を發揮せしめねばならない。

三、東京市の交通

I 都市と交通機關——文化は交通機關の發達を産み、交通機關の發達は更に高度の文化を導入する。底止する所を知らない大都市の膨脹は主としてその經濟的事情に基くものであるが、同時に近時の交通網の整備、交通機關の發達がその不可缺の

口の増加率の自乗よりも大なりと謂はれる。特に住宅と職場とが必然的に分化の趨勢にある今日（註）、都市活動は悉く其交通機關の整備發達に依存するのみならず、都市將來の發展形式も、亦交通機關の良否に依つて規定される。要するに近代都市に於ける交通機關

はその大動脈であり血管である。都市發展の様、各地域の盛衰は交通機關と緊密不可分の關係を有し、凡ゆる都市的計畫並施設は第一に交通機關との關聯に於て考究せらるべきものであつて、更に又時局下に於ける都市の緊張と活動を如實に示すものも亦これら交通機關である。

（註）東京市に於ては住宅と職場との分離により人口は晝夜により著しい移動現象を示してゐる。今昭和五年の國勢調査資料に基きその移動的對比を見ると、夜間人口に對し

時局下に於ける東京市と其見學（清水觀光課長）



靖國神社

晝間膨脹形態を示す區は、諸官廳、銀行、會社、事務所、商店、工場、學校等凡ゆる社會活動の中樞を有する麹町、日本橋、神田、京橋、芝、赤坂、本所、本郷、小石川の九區であつて、ビジネス・センター丸ノ内を含む麹町區に於ては夜間人口を一〇〇とすれば

晝間人口は二九六・五一で約三倍の膨脹を示し、又典型的商業地として百貨店、大商店を多數に有つ日本橋、京橋の兩區は店舗と住宅との分離的傾向に伴ひ、更に又所謂學生街として全市學校總數の一割を占むる神田區は通學學生生徒に依り夫々夥しい晝間人口の膨脹を現してゐるのである。

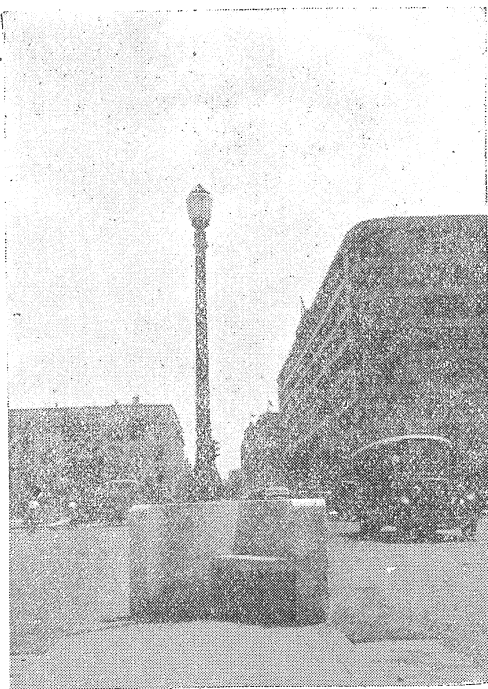
これに對して晝間人口の減少を示すものは新市部の諸區全部と舊市部の數區で、その内最も著しい減少を示す區は杉並區で（夜間人口を一〇〇とすれば晝間人口は八二・〇六）

荏原、中野、瀧野川、世田谷、目黒の諸區がこれに次ぐ。これらは孰れも通勤者の住宅の多い居住地區である。

II 帝都交通機關の現況——現在東京市に於ける主要交通機關は、省線電車、市營電車及バス、私營電鐵、地下鐵、私營バス及タクシー等で、これらの交通機關は一日約三百十數萬人を輸送してゐるが、一時赤字經濟の同義語の如く考へられてゐた市電の滿員鈴生り風景、燃料節約の國策に沿つて著しく増加したバスの木炭車、工場地帯を控えた省線及私鐵のラッシュ・アワー

に於ける殺人的混雜等交通機關に現はれた東京の時局的風景は近時著しく世人の注目を惹いてゐる。

前記各種交通機關中大東京の大動脈をなすものは省線電車で、その一線は舊市域の周邊を循環し他の數線は東京驛を中



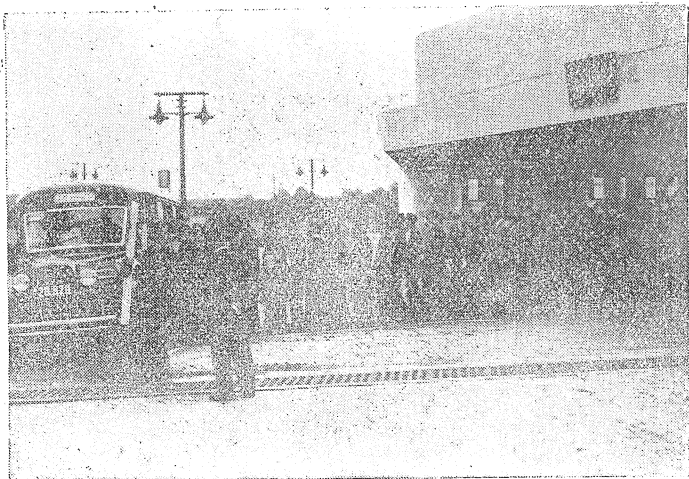
丸ノ内

心として四方に派生してゐる。而してこれ等の各營業路線亘長軒は、省線八四・六軒、市電一七三・九軒、市バス一七九・三軒、私營バス一、四七五・一軒、私營電鐵二四・九軒、地下鐵一四・三軒で、その總延長軒數實に二八、五二一軒に達する。外に市内を縦横に疾驅するタクシーの數は一萬一千臺と推計せられ、その駐車場は一ヶ所にも及んでゐる。

更らに昭和十三年度の統計に據れば、これ等交通機關の一年間に輸送した乗客數は延人員十五億六千三百萬人といふ龐大なる數字を示し、我國總人口の十五倍半に該當し、大東京の人口を二百四五十回輸送したこととなる。今これを交通機關別に見ると、省線によるもの四億二千四百萬人（總數の二七％）、市電によるもの三億二千三百萬人（二二％）、私營電鐵

によるもの二億六千八百萬（一七％）、公私のバスによるもの三億一千二百萬人（二〇％）、圓タクを利用せるもの二億五百萬人（一三％）、而して地下鐵によるもの三千二百萬人（二％）、といふ比率を示してゐる。尙、最近の調査に據るとこれ等の乗客數は年々一億人づゝ増加するの傾向にあるといふからこれが對策は焦眉の急務とされるわけである。

加ふるに、これ等交通機關の經營主體は官公私三十に及び、その間統一連絡を缺き、亂立競争狀態に陥つて居り、勢ひ交通機關網は錯雜無秩序を極めてゐる。實に帝都の發展、交通事業自體の健全なる發達及び燃料資源愛護等の立場よりこれが統一調整、經營の合理化を圖することは絶對且緊急の問題である。最近帝都交通統制問題の盛んに論議せらるゝ所以であつて、政府に於



（るけ避を雜混てつ作を列序）物乗のーワアユシツラ

ても昭和十三年陸上交通事業調整法を制定し、大規模なる一機關の經營の下に帝都各種の交通機關を統制せんことを企圖し具體的計畫を樹立しつゝあるから遠からずその整備の實現が期待されやう。

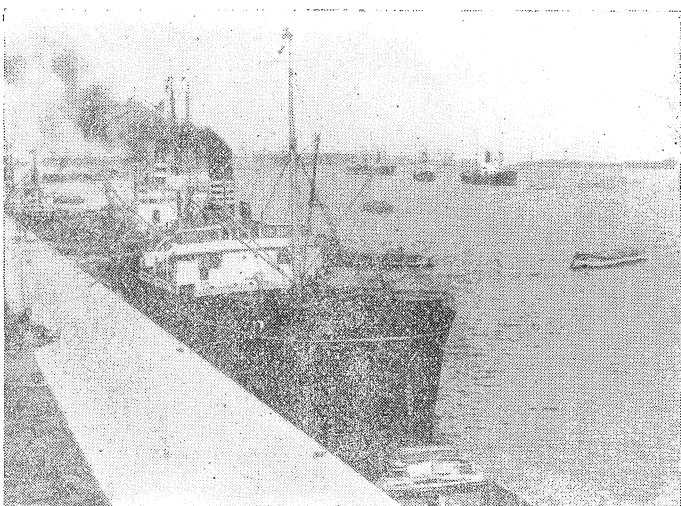
III 高速交通機關——大都市に於ける新しい交通機關として特に注目を要するものは高速交通機關即ち地下鐵道である。

大都市交通の特質に適應する交通機關として具備すべき要件は、快適、安全、正確且迅速なること、交通費の低廉なこと及び輸送能力の極めて強大なること等の諸點であるが、高速交通機關がこれ等の諸要件を充足し大都市の交通機關として最適であることは歐米大都市の實例に徴するも明らかである。更らに前述の如く本市の異常なる發展に基く路面

防空の觀點よりしても、將來地下鐵が帝都交通機關の樞軸をなすべきものであることは一點

の疑を容れる餘地もない。我東京市に於ては現在、淺草雷門より上野、神田、日本橋、京橋、銀座を経て新橋に至る八軒の區間を有する東京地下鐵道株式會社線と澁谷驛より青山、赤坂見付、虎ノ門を経て新橋に至る六・三軒の區間を有する東京高速鐵道會社線との二つがあり、この兩會社線は連絡運轉せられてゐる。併し乍らこの兩路線の合計は僅かに一四・三軒に過ぎず、昭和十四年三月東京都市計畫高速交通機關路線として決定せられた八・四軒の一部分に止まり、東京市に於ける高速交通機關の將來は極めて多事なりと謂ふべきである。

四、東京市の産業



I 生産都市としての東京——都市の魅力がその偉大な消費の斷面に於て存することは事實である。併し乍ら都市の魅力を消費都市としての側のみより誇張するのは正しい態度ではない。近代都市がその成立並發展の本質的不可缺少要件とするものは生産業特に工業の發達である。東京市も曾て政治中心の消費都市として専ら消費の方面に強い活動力を發揮する都市であつたが、近年、特に市域擴張の結果有力な生産機能を包攝し生産年額二十五億圓(昭和十二年)

に達する一大生産都市として出現した。この現象は近代的都市に必然的なものであるが、東京の見學に當つては特にこの點に明確な認識が要請せられる。

東京市は帝國の首都であり、政治、文化の中心であると共に産業の一大中心でもある。又、

金融の方面から見ても日本銀行を始め、不動産金融を主とする日本勸業銀行、工業金融を主とする日本興業銀行など特殊銀行の本店が存在し、又普通銀行としても所謂五大銀行のうち四銀行は本據を市内に置いてゐる。東京市は實に日本金融資本の中心地でもある。その手形交換高は全國四十三交換所の首位を占め、昭和十二年度には三百四十一億圓を越え、株式その他の取引を見ると東京株式取引所の株式の賣買高は清算取引に於て大阪に勝り、米穀、綿、人絹の市場も皆多數な地位を占めてゐる。市内の會社本店數は一萬七千五百四十一、支店數は九百七十六、資本金及び出資額百二十四億五千三百六十萬七千圓、その内拂込及び出資額は九十三億六千二百八十五萬一千圓以上(昭和十二年)

を擁してゐる。



日本橋

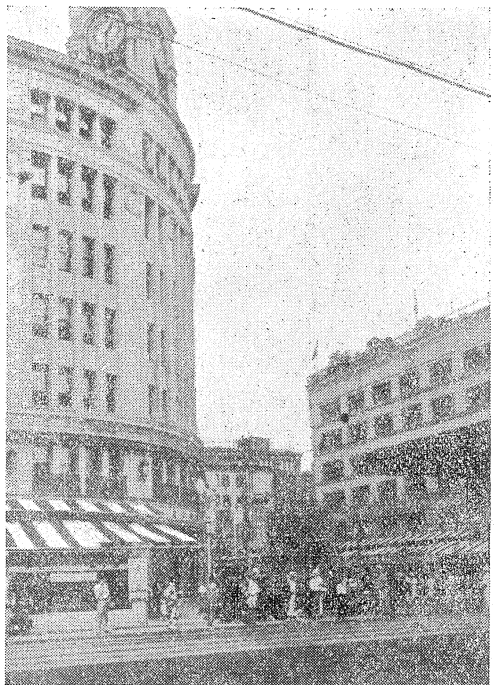
各種産業生産額並比率(昭和十一年)	
産業	生産額 千圓
農産	一四、三九
畜産	一、九四八
林産	一〇八
水産	一七、二四
工業	一、七四、〇三
計	一、七五、六〇
比率	
農産	〇・八
畜産	一・一
林産	〇・〇
水産	一・〇
工業	一〇〇・〇

本市工業地域は川崎、横濱兩市と共に所謂京濱工業地帯を形成し、三市は不可分の關係にあつて我國工業の重要な役割を持つてゐる。時局下のこの方面の殷賑さは目覺しいものがあり交通機關の混雜さに

もその片鱗が窺れる。東京市の工業地帯は燃料、原料及び生産品の集散、労働力の吸収等に恵まれ、その活動力も旺盛であつて、昭和十一年の工産額はその總生産額の九十七%を占め、断然第一位の十七億四千餘萬圓である。更らに昭和十二年の統計によれば總工産額は二十五億を越え、職工五人以上の工場數一萬四千餘、職工數四十萬を越えるの盛況である。これらの數字は時局工業の股脈に伴ひ昭和十三年度以降は著しい増加を示すであらう。

次に生産額から言へば畜産業の千九百四十四萬八千圓餘が第二位を占め、東京市常設の家畜市場と屠場は都市食糧問題の見地から重要な都市施設となつて來た。

これに次いで水産業であるが、各漁場の底質も水質も良好で天然飼料の豊富なことなどによつて第三位生産額に達し、



昭和十一年には一千七百八十餘萬圓を算した。中でも海苔の生産は本邦に於て獨自の地位にあることは人の良く知る處である。淺草海苔は實に東京の最重要な特産物である。

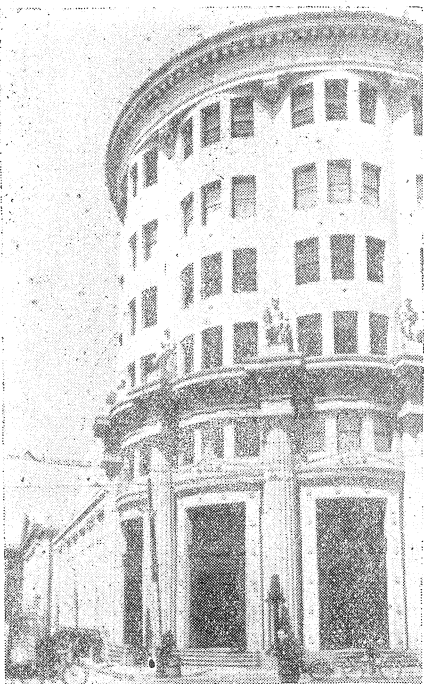
東京市の農業は昭和七年までは言ふに足りなかつたが、市域擴張の結果急に十六萬段の農耕地と一萬八千戸餘の農家とを數へるに至り大きな變化が齎られた。東京市農業の主産物は蔬菜類であつて、生産される新鮮な蔬菜の半ば以上が直ちに同じ市内で消費されて了ふのがその特色であつて、又そのために所謂都市農業としてその經營には充分の費用をかけ多角的、集約的な方法を探つてゐる。

以上の如く東京市の産業は工、農、畜、水産の各種に亘り隆昌を示してゐるが、この華やかな活動の蔭には中小商工業の問題、新市場開拓の問題等解決を急ぐべきものが多く、又一

方支那事變の進展に伴ふ銃後産業の問題だの時局の波は頻りに産業界を洗つて愈々本市産業界の前途は多端である。

關係施設にして參觀を要するものは、中小商工業者の相談指導施設なる東京市商工相談所、本市優良商品及新製品の展示及即賣施設である東京商品館、各所に散在する小賣市場、中央卸賣市場及其分場、家畜市場、屠場等である。その他一般經濟關係で見學適所は次の通りである。日本銀行、株式取引所、米穀商品取引所、百貨店、各種工場等である。

Ⅲ 東京港——東京の産業に關聯しては最近に於ける東京港の目覺しい發展を一瞥する要がある。東京港は今尚樂港の途上にありとは言へ素晴らしい活躍を示してゐる。即ち東京港並近接河川に於て取扱はれる貨物は年々一千萬噸を超えその價格に於ては實に十二億圓に上るのである。今や東京港はその取扱貨物



東京株式取引所

數量に於て日本第六位、價格に於て第四を占めてゐる。

昭和二年即ち岸壁の竣成一年後には東京港出入船舶は僅かに一千六百五十四隻、その總噸數二百八十三萬噸、陸揚された貨物は二百三十一萬噸、その價格一億八千三百萬圓に過ぎなかつた。併しその後東京市の躍進に伴ひ東京港も亦長足の

進展を遂げ、十一年後の昭和十三年に於ては入港出港の隻數三千八十七隻に達し、その總噸數は七百九十四萬噸、陸揚貨物は七百二十四萬噸、その價格九億四千五百萬圓と註せらるゝに至つた。洵に隔世の感がある。

東京港は開港場ではない。併し事實上對外貿易のための開港場と同様の機能を發揮してゐる。昭和十二年度に於て東京港に出入した外國船舶は百二十七隻で、その取扱貨物六十萬噸、價格に於て一億三千四百萬圓に上るものが税關を通過したのである。この對外貿易に於て輸入四十萬噸、

その價格五千二百萬圓、輸出二十萬噸、その價格に於て八千二百萬圓となつてゐる。即ち數量に於ては輸出は輸入の半であるが、價格に於ては三千萬圓の超過を示し輸出入の均衡から見て甚だ有望と言はねばならぬ。

東京港を通過する輸出入品中年額百萬圓以上の價格を示すものは、生ゴム、南洋木材、砂糖、金屬製品、石炭、鐵鋼材、米及雜穀、綿製品、玩具、紙器等で、仕向地及輸出地は關東州、滿洲國、支那、佛領印度支那、海峽植民地、印度、南洋諸島、濠洲、南米、北米及歐洲の數ヶ國である。

大正十二年の關東大震災の際東京市は海上輸送の便宜を大ならしむることの必要を痛切に體驗したのであつて、直ちに工事一千八百萬圓を支出し市の臨水地域たる芝浦に岸壁、波止場及倉庫を設けることに決し、これ等工事は復興事業中の重要部分を占めたのである。この築港工事は昭和十年四月一先づ竣成を遂げたのであるが、更らに大東京の玄關としての偉容を完備するため三千三百萬圓の巨費を投じて大規模の築港工事を進行中である。



統計

昭和十二年度文部統計摘要 (六)

文部大臣官房文書課

種別		學 校		官 立		公 立		私 立		計		教 員		生 徒							
												保 姆		無 資 格		有 資 格		師 範 部		初 等 部	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
師範部	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
男	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
女	二四	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一				

同十日	自午前九時	口述、教授法	文部省
同十一日	同	同	同
化・學。			
十月十日	自午前九時至正午	筆記	東京帝國大學理學部化學教室
同	自午後一時至同四時	同	同
同十一日	自午前九時至正午	同	同
活動寫眞「フィルム」頒布	自午後一時至同四時	同	同
同十二日	自午前九時至正午	選擇外國語	同
午後口述試驗受驗者發表	同	同	同
同十三日	自午前九時	口述、實驗及教授法	同
同十四日	同	同	同
活動寫眞「フィルム」頒布	文部省ニテハ今般製作セル活動寫眞「フィルム」左記ノ通頒布スルコトトセリ	同	同
「フィルム」名稱	卷數	米數	頒布價格
一、三十五ミリ發聲映畫	卷	米	圓
榮ある青少年學徒兄弟こぐま	一	三〇〇	一五〇・〇〇
二つの世界	一	三〇二	一五一・〇〇
二、三十五ミリ無聲映畫	一	二六五	一二二・五〇
がいむしの生活	一	二八三	一一三・二〇
がいむしの驅除	一	二三三	九三・二〇
少年突撃兵	五	一三四七	五三八・八〇

三、十六ミリ發聲映畫	榮ある青少年學徒兄弟こぐま	二つの世界	四、十六ミリ無聲映畫	がいむしの生活	がいむしの驅除	少年突撃兵	推薦	番號	推薦	映畫題名	卷數	價値	觀覽指	製作者	所有者
退職	新潟縣公立小學校校長中俣叶ハ八月十五日願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ	休職満期	休職公立中學校教諭白川昴市ハ七月十五日休職満期ト爲レリ	死去	師範學校教諭兼師範學校舎監正七位荒崎新ハ八月十日、東京府公立小學校長正七位勳六等村野喜ハ同日十三日、公立實業學校教諭從六位倉田真吾ハ同二十二日、	東寶映畫株式會社	獨逸ウフア會社	東和商事合資會社	上	同	同	同	同	同	同

一 一〇八・〇〇

一 一二〇

一 一〇八・〇〇

一 一〇六

一 九五・四〇

一 一一三

一 六二・一五

一 九三

一 五一・一五

五 五三八

五 二九五・九〇



四 發行 本時報ハ規格A判五番、每號約六十四頁、定價金貳拾錢ヲ標準トシ、每月三回一ノ日ヲ發行期日トス	三 編纂 文部時報編纂ノ爲編纂委員長竝編纂委員若干名ヲ置ク 編纂委員長ハ文書課長ヲ以テ之ニ充テ、編纂委員ハ文書課員中ヨリ之ヲ命ズ	二 編纂 文部時報編纂ノ爲編纂委員長竝編纂委員若干名ヲ置ク 編纂委員長ハ文書課長ヲ以テ之ニ充テ、編纂委員ハ文書課員中ヨリ之ヲ命ズ	一 編纂 文部時報編纂ノ爲編纂委員長竝編纂委員若干名ヲ置ク 編纂委員長ハ文書課長ヲ以テ之ニ充テ、編纂委員ハ文書課員中ヨリ之ヲ命ズ
---	---	---	---

定 價 表		廣 告 料	
一 部	金 貳 拾 錢	送 料 共	
一 ヶ 月	金 六 拾 錢	送 料 共	
六 ヶ 月	金 參 圓 六 拾 錢	送 料 共	
一 ヶ 年	金 七 圓 貳 拾 錢	送 料 共	

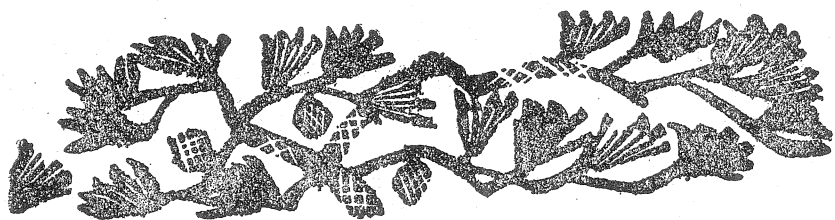
②臨時增刊又は増大號發行の節は別に代
 金申受けます
 ③御註文は總て前金に類ひます前金切れ
 の場合は送本いたしません

廣告料は一頁五拾圓、二分ノ一頁參拾圓、
 四分ノ一頁拾八圓とす
 掲載頁數は壹部毎に拾參頁を越ゆること
 を得ず
 右文部省の御指定に依つたものです

昭和十四年九月十九日印刷納本
昭和十四年九月二十一日發行
(第六六七號)

東京市麹町區五番町ノ四番地
大谷仁兵衛
大谷公平
大谷
大庭公平
印刷所
行政學會印刷所第二工場
電話牛込二九九六番

東京市京橋區銀座西七丁目一番地
帝國地方政學會
電話銀座六六〇、六六一、六六二、六六三番
都廳附金口區東京二十三番



文部時報

第六百六十九號

目次

卷頭 (明治天皇御製二首 昭憲皇太后御歌一首)

中等入學者選拔方法 に就て 文部省普通學務局長 小山知一…………二

——小學校教員諸君に對して——

小學校に於ける武道教育方針に實地指導 並に 文部省體育官 甲佐知定…………一〇

戰時下に於ける農業増産運動の趣旨と方法 農林書記官 西村彰一…………一六

滿蒙青少年義勇軍に就いて 拓務省拓務局長 安井誠一郎…………二八

時局下に於ける東京市と其見學(二) 東京市觀光課長 清水照男…………三八

昭和十二年度文部統計摘要(八) 文部大臣官房文書課…………五四

勅令…………第六百五十六號(東北帝國大學官制中改正)——第六百五十七號(東北帝國大學各學部

ニ於ケル講座ニ關スル件)中改正)——第六百五十八號(金屬材料研究所官制中改正)——第六百

六十七號(映畫法施行期日)——第六百六十八號(映畫法施行令)…………五七

省令…………內務文部厚生省令第一號(映畫法施行規則)…………五八

訓令…………文部省訓令第二十四號(社會教育職員制中改正)——文部省訓令(文部省分課規程中改

正)…………六八

告示…………文部省告示第四百十八號(鳥取縣立鳥取工業學校設立認可)…………六八

通牒…………外國人ノ經營スル小學校及幼稚園等ノ設置認可ノ取扱方ニ關スル件)…………六九

敘任及辭令(自昭和十四年九月二十一日至同三十日公表ノ分等)…………六九

彙報…………學位授與——獎勵金交付——女子高等師範學校生徒募集——檢定教科用圖書——賞

業專門學校長認可——圖書推薦——蓄音機「レコード」認定——帝國圖書館閱覽人員——東京科

學博物館開館日數等——教學局選獎圖書——轉任——退職——死去…………七九

公告…………日本諸學振興委員會第一回法學會日程等…………九二



時局下に於ける東京市と其見學 (二)

東京市觀光課長 清水 照 男

五 教育都市としての東京

東京市は我國教育文化の中心地であり、同時に東洋最大の學都でもあつて、百十數萬の學生生徒が市内二千有餘校の各種學校に分れて學業に心身鍛鍊にいそむ壯觀こそ正に學問の坩堝と云へるが、その湧り立つた知識慾の中に約八十萬人の小學兒童がゐて次代國民の完成に努力してゐる。

I 各種の學校……東京市内の市立小學校の數は昭和十二年末現在で五百九十六校あるが、このうち尋常小學校は四百六十二校、尋常高等小學校が九十九校、高等小學校が三十五校となつてゐる。總學級數は一萬三千八百七十一、教員數は一萬五千八百八十四人、兒童數は七十八萬二千三百三十五人である。

更らに東京市内に於ける各種の學校數を見ると昭和十三年

三月一日現在では、總數二千三十二校（内、官立七九、市立九六八、私立九八五）である。これを學校種類別に見ると、幼稚園三一五、小學校六三三、小學校に類するもの七八、官及聾學校九、青年學校二五八、實業學校一〇七、中學校五三、高等女學校七八、師範學校三、教員養成所二、高等師範學校二、高等學校五、專門學校六四、大學二一、指定學校三二、その他の學校三〇七となつてゐる。

右のうち、小學校に類するもの七八校中七七校は尋常夜學校であり、更らに中等各種學校以上大學に至るまで夜間學校頗る多く、晝間職務に従事し、夜間これらの諸學校に於て勉學を勵むものの夥しく多いことは東京市に於ける一つの特異性ある文化現象であると共に又國家のために喜ぶべき現象とも言へるであらう。

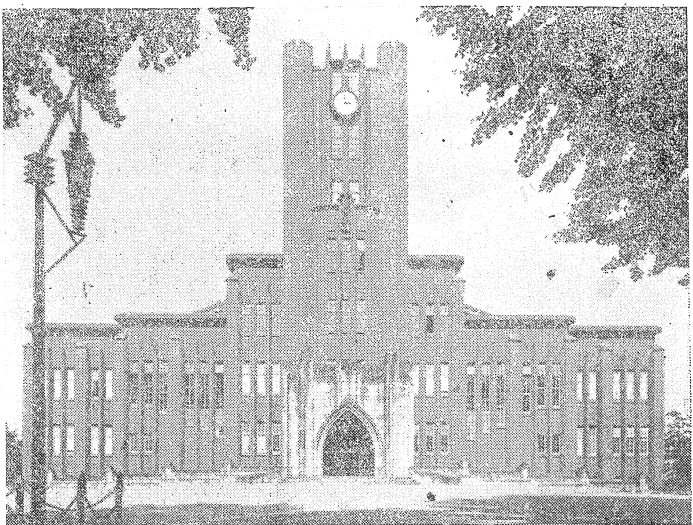
II 圖書館……圖書館は社會教育常置機關として市民の文

化的要求を満たす施設であつて、市立圖書館について見る

と、明治三十九年日比谷圖書館が創立されたのが始めで、現在二十七館（内、有料のもの九館）、藏書冊數五十二萬一千九百七十一冊にしてその施設事業は全國他都市の追隨を許さぬ處で本市教育施設の誇りの一つである。

右の中、その蒐集圖書の特殊なるものを拾つて見ると、日比谷圖書館には 大正天皇御大禮記念「東京誌料」、滿洲國皇帝御來朝記念滿洲文庫、海事思想普及の目的をもつ近藤記念海事文庫、英國文化の紹介と日英兩國の親善を圖るための日英文庫、米國文化の紹介と日米兩國の親善を圖る目的のカーネギー國際平和文庫の備があり、兒童圖書は日比谷圖書館創立

以來の蒐集にかゝり優良な兒童圖書は殆んど完全に保存され



東京帝國大學安田講堂

てゐる。駿河臺圖書館には學生參考圖書の外、内外通信交通に關する文獻を網羅した内田文庫の備付があり、京橋圖書館には實業圖書室の設備をもつて商工經營、販賣、實務、宣傳、廣告等の實業關係圖書があり、深川圖書館には工場、機關、工業、原料、勞働等に關する圖書を常置し、氷川圖書館には神道、歴史、有職、故實に關する文獻を有する九條文庫がある。これらはその圖書館所在の土地柄に従つて、夫々蒐集されたものである。

以上は市立圖書館であるが、東京市にはこの他多數の大圖書館がある。即ち帝國圖書館（官立で日本一の藏書類がある）が上野公園内にあり、博文館主大橋氏公開の大橋圖書館が麹町にあり、東洋文庫（モリソン文庫）は本郷にあり、岩崎男爵家の文庫、財團

時局下に於ける東京市と其見學（清水觀光課長）

法人として公開されてゐる。ロンドンタイムスの記者故モリソン氏の苦心蒐集した東洋の文獻二萬四千冊と圖表一千枚何れも稀觀の書、スエズ以東唯一の秘庫とも稱せられてゐる。その他徳川頼貞侯の南葵文庫は音楽に關する文獻が多く、藤山氏の藤山工業圖書館は工學に關する文獻が多い。尙、東京帝國大學圖書館は大震災で大部分烏有に歸したが、ロックフェラー氏の寄附四百萬圓と國庫支出百五十萬圓を以つて復興した建築は、その規模の雄大、設備の完全は東洋一と稱せられ、現在震災前の七十三萬冊に近い七十萬冊を所藏し理想的書典の殿堂となつた。

Ⅲ 教育的觀覽施設及學術施設……東京市には又博物館、美術館、各種展覽館、動植物園、その他各種の研究所、試験所そ



東京市四谷小學校

その他學術關係の施設が頗る多い。左にその主なる名稱を列挙して見よう。

- 皇室博物館 明治神宮寶物館
- 聖德記念繪畫館 憲法記念館
- 東京科學博物館 遊就館と國防館 海軍館 東京市復興記念館 東京市電氣博物館 東京市上野恩賜公園Ⅱ動物園 鐵道博物館 警察博物館 逓信博物館 東京帝大理學部附屬植物園 演劇博物館 大倉集古館 特許局陳列館 飛行館航空展覽室 滿蒙資源館 衛生博物館 東日天文館
- 航空研究所 理化學研究所 傳染病研究所 北里研究所 榮養研究所 國民精神文化研究所 東京天文臺 中央氣象臺 癌研究所 地震研究所 農事試驗研究所 地產試驗所 蠶業試驗所 林

業試驗所 電氣試驗所 體育研究所

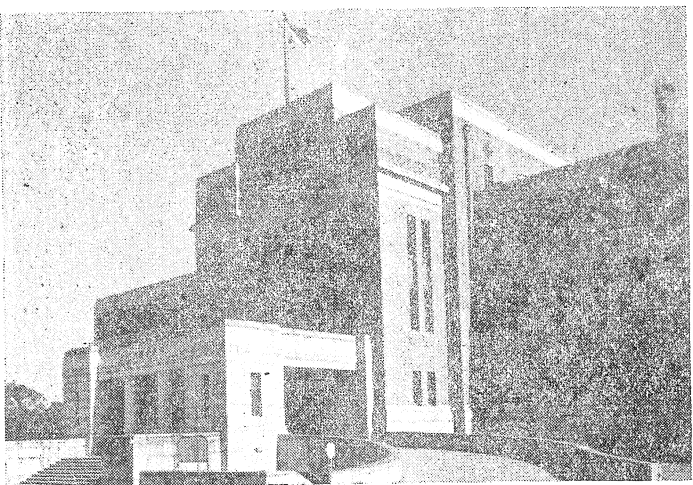
六 東京市に於ける都市文化施設

帝都たるの地位に於て、更に六百四十五萬人の市民を對象とし、これに近代都市生活の諸種の便宜を享受せしめ或はこれらに對し都會的缺陷を豫防、救済し、依つて都市生活を充實せしめやうとする目的を以て計畫、施設、經營せらるゝ多數の都市文化施設中より東京見學上參考となるべきもの若干を擧げて略説することとする。

Ⅰ 綠地施設 (附、近代的墓地)

(1) 綠地の意義及種類……思ふに大都市に於ける商工業の異常なる發展と從來の跛行的都市計畫の結果は人口の著しい都市集

時局下に於ける東京市と其見學 (清水觀光課長)



東京科學博物館

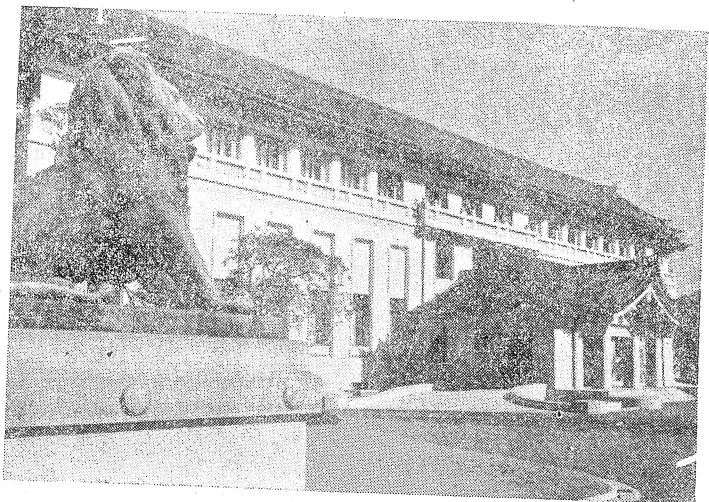
中を招來し、綠地を缺乏せしめて都市生活者の健康を低下せしめたるのみならず、保安上、防空上の諸弊は默過し能はざる危険なる狀態を呈することとなつた。

本市に於ても其急激なる發展に因り市内外の綠地は激減し、過密、過大都市の危機に直面して綠地に關する新たな計畫、施設、保存がなされるに至つた。而して公園、運動場その他一般綠地は市民生活の保健上及精神上の幾多の弊害を補正し、市民の體育、休養、慰樂或は都市美に資すべき文化施設たる意義を有し従つて都市の發達が高度に進み市民の文化的要求の高まるに伴ひ益々其必要性が増大する。殊に關東大震災以來綠地の防災的效果が一般に認識せられ、更に今次事變を契機と

可缺の都市的要素とせられるに至つた。

「緑地」とは「其ノ本來ノ目的ガ空地ニシテ、宅地、商工業用地及頻繁ナル交通用地ノ如ク建蔽セラレサル永續的ノモノヲ謂フ」と定義せられてゐる。即ち緑地と稱せらるものは總て建築物敷地たらざる樹林地、農耕地、水面等を含む廣義の空地にして、而かも相當永續性のあるものを謂ひ、一般道路、建築豫定地の類は除外せられる。従つて緑地の内容は頗る廣範圍に亘り大體次の様なものを包含する。

- (イ) 普通緑地 公園（之れに準ずるものとして行樂道路、墓苑、公開緑地（神社・寺院の境内地及其の附屬地、認定による公開地、共同園、私園等）、共用緑地（學校園、團體園、遊園地、



館物博室帝

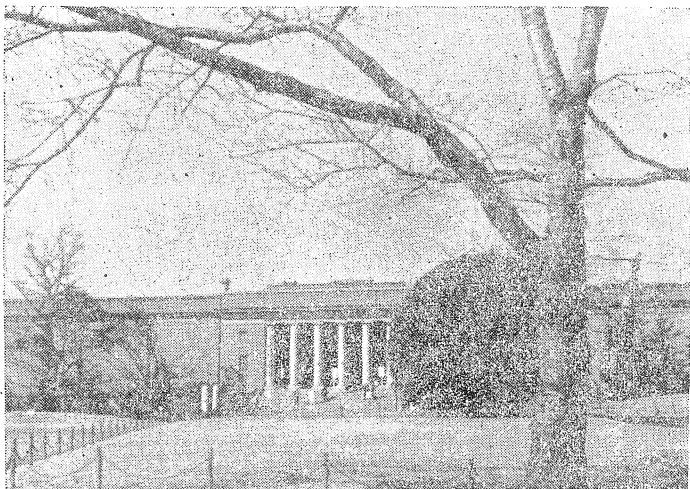
- (ロ) 生産緑地 普通農業區、林業地區、牧野地區、漁業地區、

(ハ) 緑地に準ずるもの 庭園、保存地（天然保護區域、指定又は假指定せられたる史蹟名勝、天然紀念物の地、風致地區、風致林、魚附林、保安林、要塞地帯、軍港要港の境域其他）

動大公園、小公園、本市外周の環狀景園地、公開緑地の認定

等である。

その中、自然公園計畫である景園地及景園地探勝上必要な行樂道路選定は、東京府の外隣縣、神奈川、埼玉、山梨、群馬、茨城、千葉の諸縣に跨り、三七景園地及一五六行樂道路が決定實現を見つゝある。東京府下の景園地としては、大島、南多摩、高尾、瀧山、秋川、御嶽、奥多摩、日原、南武藏野、武藏野、狹山等があり、何れも登山、ハイキング等の慰樂に好適なる景勝地にして、將來自然公園としての施設を加へ風致を開發して市民一般の行樂地たらしめんとするものである。因みに本市では東京鐵道局と共同にて、市の内外に「市民健康路」ハイキングコースを選定し一般市民に推賞市民の體力向上運動の獎勵を實施してゐる。



館術美府京東

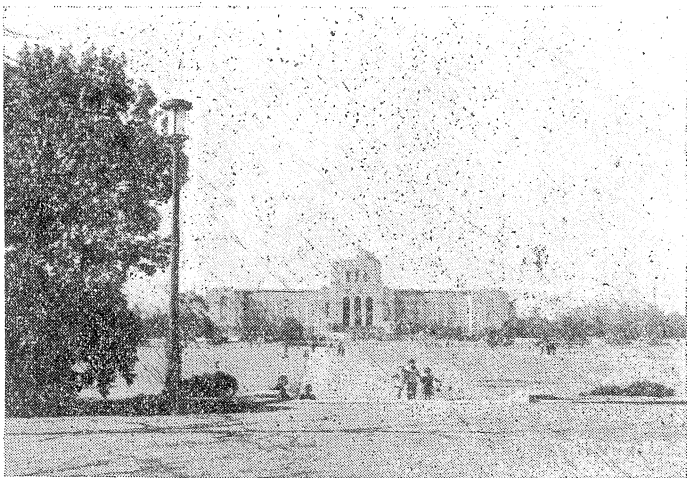
頭、上野、舊芝離宮、猿江の四恩賜公園は本市の誇りとす

(3) 公園……明治六年大政宣布達に基き淺草、芝、上野、

る所であり、又近くは昭和九年一月に高松宮家より有栖川記念公園の御賜與を受けたのである。

尙昭和十一年十二月文部省より委託管理を受けた江戸時代の名園小石川後樂園（史蹟名勝指定）は復舊及保存施設を完了公開され、又徳富蘆花氏の遺族より寄附を受けた蘆花公園（恒春園）は文豪の自然生活を偲ぶに足る施設を施して開園され、更に清澄庭園、六義園、臺場公園、乃木公園、東郷公園等由緒ある名園、記念公園竝に日比谷、芝等の大公園がある。

併し既に人口六百四十萬を越える本市の公園量として見れば一人當り僅に〇・二坪に過ぎず、都市公園量の標準たる一人當り四坪乃至十坪に對しては勿論、歐米諸都市の現状に比すると著しく遜色あり、市面積に對する公園面



明治神宮外苑繪畫館

積の千分比はロンドンが一〇〇、ニューヨークが七六及びベルリンが一八であるのに我東京市は僅かに六に過ぎないのであつて、市民の保健的見地よりも將又帝都の保安上、防空上よりするも公園増設は急務とせられる。

特に從來の保健及休養慰樂施設としての公園は近時都市防空的施設としての重大意義が附加され、本市に於ても都市計畫公園として、防空上より最も必要とする空地は可及的に之を買収して置くことゝし防空公園計畫が樹立され、九箇所が選定され既に五公園が決定されてゐる。

(4) 近代的墓地……墓地は靈魂の永久に憩へる清淨の地であり、祖先崇拜の國民精神的方面から或は都市將來の發展を規整する上に於て、都市施設として重大な關心を要すべき問題である。



本市墓地の中、青山、谷中、雜司ヶ谷、龜戸、染井は明治

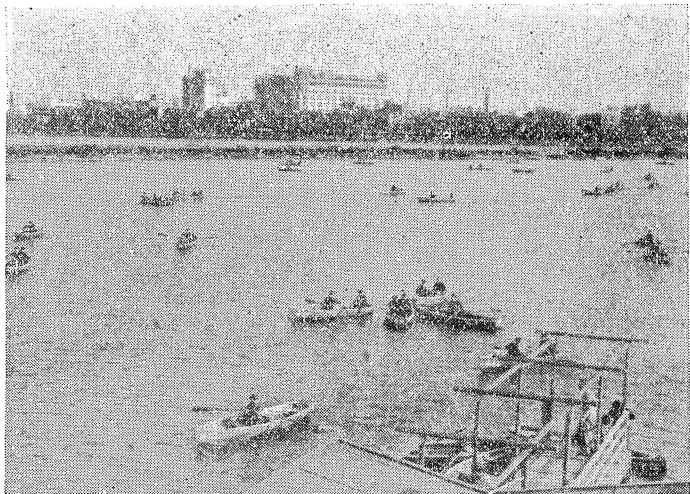
八年大政官布達によつて市内に散在する墓地への土葬を禁止すると同時に神葬祭地として設置され、その後本市に移管されたもので、その後新設された多磨墓地及八柱の墓地を加へ現在市營共葬墓地は七箇所である。

多磨墓地及び八柱墓地 多磨墓地は面積約四十萬坪、之れを二十二に區分し、各區内には清楚な庭園的地割を施し、凡て從來見る墓地の陰慘な雰圍氣を排し公園的装景を加へたる四季とりどりの風趣に富む宏壯な靈域である。又墓地内特別地區には偉大なる國家の功勞者を表彰し、後世永く其の偉勳を偲ぶための名譽靈域が設置されてあり現在東郷元帥の墓がある。

八柱墓地は多磨墓地が既に過半を利用し盡され空地が狹隘になり加へて東京市東部方面の需要に應ずるため千葉縣松戸町附近の八柱村及高木村の地をトして設けられたもので面積約二十二萬坪である。

II 市場及屠場

(1) 東京市中央卸賣市場……大都市に於ては市民はその食糧を全く外部からの供給に俟たねばならない。東京市中央卸賣市場は東京市が中央卸賣市場法に基いて設立したもので、市民の生活必需品たる魚類、肉類、鳥類、卵、蔬菜及果實の卸賣を行ひ、新鮮な食料品の需要供給を調節し取引を圓滑公正ならしめ、同時に當業者と生産者と消費者の利益を圖らうとするもので、東京市は市場に當業者を收容し市場の統制及場内の衛



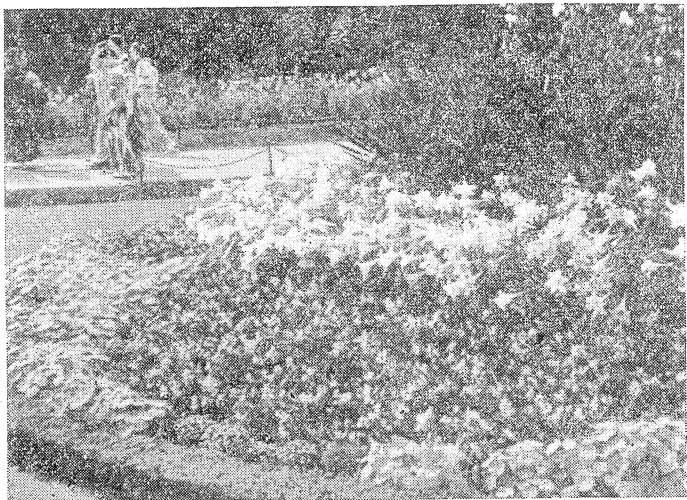
上野公園不忍池ト一

ので、東京市は市場に當業者を收容し市場の統制及場内の衛

生設備の完璧を期する等その經營監督の任に當つてゐる。

中央卸賣市場の對象とする區域は東京市の行政區劃と同じく、六百四十五萬市民をもつこの偉大な大消費都市の廣大な地域にあつて圓滑に物資を供給するためには自ら分場設置の必要が生ずる。即ち築地本場の外に神田、江東、荏原、豊島、淀橋等に廣大な分場を有してゐる。

築地の本場は昭和八年十二月の竣工にかゝり、面積約一九五、〇〇〇平方米、總工費約千五百萬圓を要し、その地は隅田川口に臨み水陸運輸上最も樞要の地點を占め、省線汐留驛より鐵道引込線を敷設し、隅田川岸には五千噸級の船舶を横着けにし得る大小棧橋を設けてある。建物及附屬設備は本市の所有でこれを問屋及仲買人に貸付けその使用料を徴收し



日比谷公園

てゐる。本場の施設としては、卸賣人賣場、仲買人賣場、附屬商賣場、買荷保管所、食堂、バナ、酸酵室及荷捌所、大冷蔵庫及製氷場、倉庫、銀行、郵便局、大棧橋、鐵道引込線等がある。本場一ヶ年の取扱高は昭和十二年度に於て、魚類部五千三百六十九萬圓、青果部一千二百三十三萬圓、鳥、卵部約五十萬圓、合計六千六百五十二萬一千四百五十四圓であるが、魚類部では一般魚類、鹽干魚、その他製品、青果部では一般青果と漬物、鳥、卵部では鳥肉、兎肉、生鳥生卵を取扱つてゐる。尚、年々市勢の膨脹に伴ひ取扱高は激増の趨にある。之れを要するに本場は規模の宏壯、施設の完備並取扱數量に於て世界屈指の大市場と云はれる。

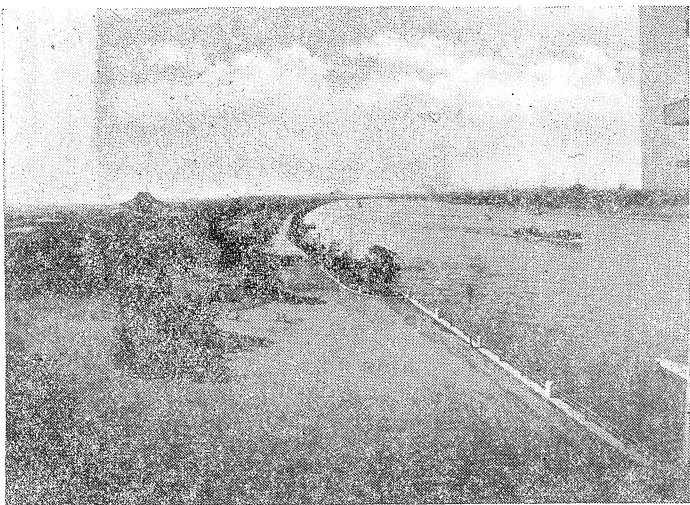
尚、本市は市内に十箇所の日用必需品の小賣市場を有して

ゐる。

(2) 東京市家畜市場及屠場……

家畜市場と屠場は市民の保健、食肉衛生、市價統制等の點より設備を完全にし家畜取引の圓滑と公正を期すべきもので、そのためには公共團體が經營するのが最も妥當である。殊に屠場は民營よりも公營が原則とされてゐるが、東京市はこの趣旨に基いて昭和十一年十二月より家畜市場並屠場の經營を開始し、次第に全市の民營の市場と屠場を收容し現在では市營統一を實現するに至つた。

東京市家畜市場、芝區高濱町地内に設置され、建坪七千八百七十七平方米、用地面積三萬二千五百平方米、家畜一日の收容能力牛五百三十二頭、馬六十四頭、羊豚千六百頭、合計二千百九十六頭で、これが生きたまゝ賣賣され、



隅田公園

次いで大部分は屠場で屠殺され、やがて市民の食膳を賑はすのである。東京市屠場、家畜市場に隣接して設置せられ、建坪六千二百八十八平方米、用地面積二萬一千五百平方米、一日の屠殺能力は牛三百頭、犢三十頭、馬八十頭、羊十頭、豚一千頭、合計二千四百二十頭である。

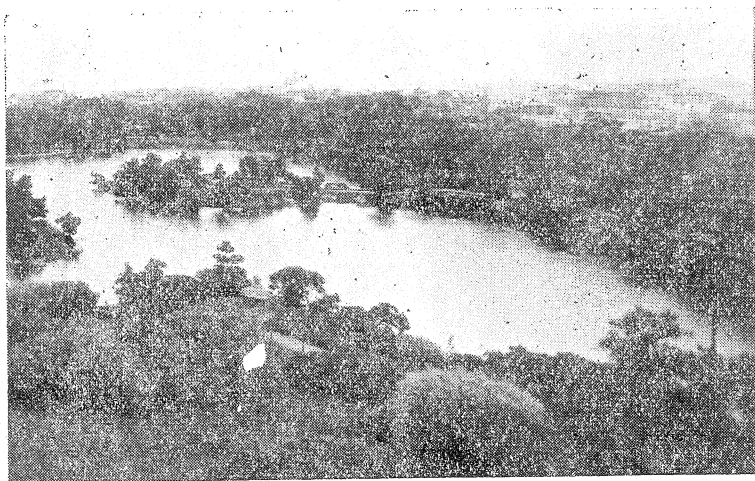
昭和十二年に市場と屠場で取扱つた總頭數は、入場頭數が十九萬五千七百六十九頭、賣賣頭數が二萬一千七百六十七頭、交換頭數が四頭、屠殺頭數は二十一萬四千七百三十七頭となつてゐる。金額にして一千七、八百萬圓が市民の胃袋に消化されるのである。

尚この外、中野區大和町に市設の野方屠場があり、敷地六百二坪、豚のみの屠殺を行つてゐるが昭和十二年の屠殺頭數は三

萬一千一百八十五頭であつた。

Ⅲ 上、下水道

(1) 上水道……都市生活に於ける水道の重要さに就ては今更説明の要もない。人口増加、文化の發達に伴ひ水道使用量は増加する一方であり、従つてその施設も急速な擴張を要するわけである。現在東京市の水道はその水源を多摩川及び江戸川の二河川と鑿井の三つに求め、この原水を淨化するため境、淀橋、砧上、砧下、玉川、調布、矢口、金町、杉並、代々幡の十箇所の淨水場が設けられてゐる。この中、多摩川の原水は淀橋の淨水場に送らるゝ外、延長八・六料の羽村村山導水路によつて村山、山口の兩貯水池に流入せしめられてゐる。



澄 清

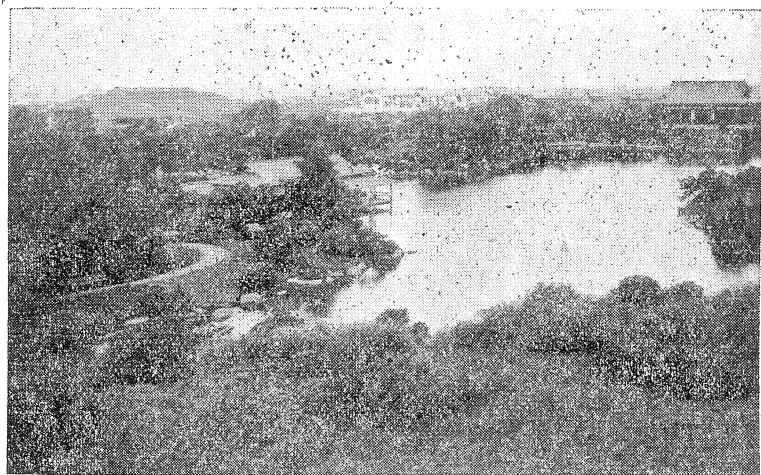
貯水池は、水源が市より遠く、亦水流量の豊富でない本市に於ては、送水の調節を圖るため且水源の渇水期に給水の安固を保たしめるため必須のものである。従つてその構造規模は六百五十萬市民を背景とする關係上當然巨大ならざるを得ないのである。

村山貯水池は大正十三年三月に完成し、上下二池に分れ周圍一六・七料、山口貯水池は昭和八年度末完成し村山貯水池よりやゝ大きい。兩貯水池併せて貯水量約三千百八十五萬立方米、丸ビルの大の枡で約百二十杯の水量であり、この兩池の建設費用及建設に要した年數は村山貯水池約七百七十六萬圓、十三箇年、山口貯水池約六百四十三萬圓、七箇年である。この水域、前者は六箇村、後者は五箇村に跨る巨大なもので舊に東洋第一であるばかりでなく世界屈指の施設である。又この貯水池

附近は東京市の狭山公園として施設が完備し、風光絶佳市民の遊歩地としてその名を謳はれてゐる。

併し乍ら六百五十萬市民にはこの兩貯水池の貯水量だけでは猶不充分であつて、多摩川の河水調節のために更らに大規模な小河内貯水池が建設せらるゝことになつた。同貯水池は昭和十二年度より工事に着手され同十七年度迄に全部完成の豫定であるが、これが豫定總工事費は約四千六百二十三萬圓が計上されてゐる。この貯水池完成の曉は、同貯水量は一億八千四百萬立方米で村山、山口兩貯水量合計の約六倍に相當し、丸ビルの大の枡で計れば約七百杯に相當する巨大なものである。

この新舊貯水池の機能を見る



公 圖

いて、取入口から一定限度の流量を導水して貯溜するといふ徹底しない流量調節方法であるが、小河内貯水池の給水量調節方法は、「人爲的に最大限度迄多摩川の流量を調節し得る」といふところに特異性があるのである。

扱、十箇所の淨水場で淨化せられた水は、淨水池から自然流下又は唧筒送水によつて配水管を通じ市内各所に送られる。この配水管は市内の通路に網の如く敷設され、歩車道の別ある主要道路には兩側の歩道に布設されてゐる。其の總延長は實に四千七百料を越え、之を鐵道線路に比較すると、小樽を起點として東北、東海道、山陽線を経て海を渡り朝鮮半島を縦貫して滿洲國に入り滿洲國境に近い滿洲里に達する長さである。この配水管は更らに漸次小管に分れ、水源から市民の家庭に達

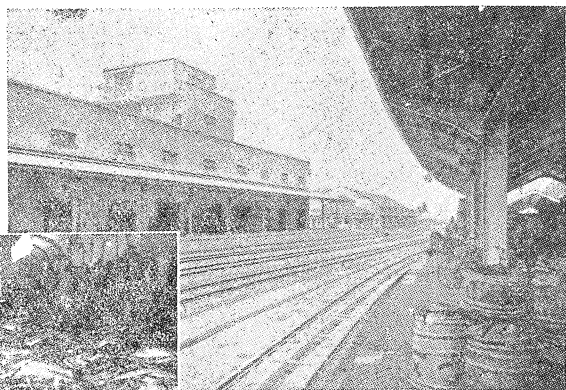
に、村山、山口兩貯水池は多摩川の流を自然の儘に任せて置

する迄には實に容易ならぬ設備を経てゐるのであつて、現在

の水道が創設されて以來今日までに費された金額は一億八千萬圓に近い巨額に達してゐるのである。

次に水道栓の普及状態を見るに、専用栓、共用栓、防火用消火栓及特殊の用途に供せられる特別栓を合せて本市内の給水栓の總数は約九十萬栓であつて、現在使用中のものを除けばその栓數約八十萬栓となつてゐる。而してこの給水栓によつて給水を受けてゐる戸數は約九十四萬三千戸、人口五百六十二萬人であつて、之を全市の總戸數百二十八萬戸に對比すると本市に於ける水道の普及率は七三・六%となる。

然らばこの給水栓による給水量はどうか。本市の給水量は逐年累増の一途を辿つてゐるが、昭和十三年中の給水量は約三億七千萬立方メートルに達し一日平均約百〇一萬立方メートルを示してゐる。勿論、夏季と冬季とは使用量に著しい相違があり昭和十三年中の最低は一月二日の約七十



魚類第一部卸賣場取引状況



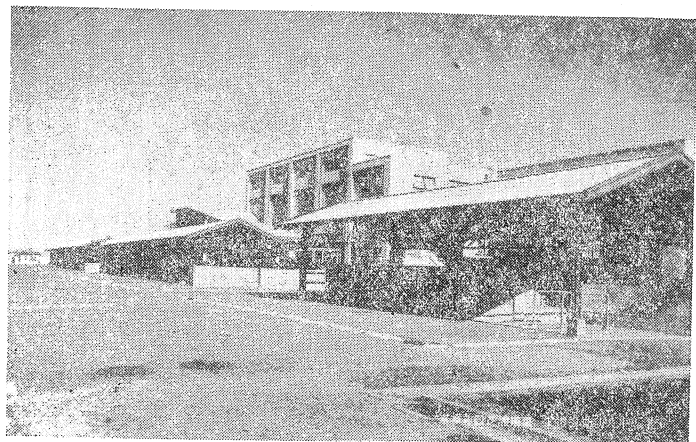
五萬立方メートルに對し最高は七月十九日の百二十六萬四千餘立方メートルに達した。更らに、これを市民の使用状態の方から調べると、最も多く水を使用するところは、一箇月一栓に付、八萬六千六百六十六立方メートルを使用する東京帝國大學が第一位を占め（昭和十二年度末調以下同じ）これを使用者の種類に依つて分てば、官公署では東京驛の三萬九千八百六十五立方メートル、工業會社では日本特殊鋼株式會社の二萬九千九百三十三立方メートル、百貨店では三越の二萬六千三百三十九立方メートル、劇場では歌舞伎座の一萬三千八百八十三立方メートルがそれ／＼第一位である。然らば一般家庭、官衙、學校、會社等に於ては一箇月どの位水を使用するか。一般家庭即ち家事専用を使用する水は一箇月平均十一立方メートルとなつてゐる。これを一日平均に換算すれば三百七十五立方メートルとなる。尚、湯屋用は六百五十七立方メートル、家事營業兼用は二十

三立方メートル、學校用は五百十一立方メートル、官公署用は二百三十六立方メートル、病院は六百六十三立方メートル、汽罐用は百二十七立方メートル、撒水道路用は二十四立方メートル、自動車洗滌用は二十五立方メートル、娛樂用には二十一立方メートルが使用されてゐる。これは孰れも一箇月一栓當りの平均である。この外共用栓は一箇月平均一戸當り九立方メートルを使用してゐる。

【見學適所】 村山、山口貯水池及淀橋淨水場。

(2) 下水道……都市住民の保健衛生は下水道施設に俟つ所頗る大であつて、本市の改良下水道事業は帝都衛生施設として重大なる意義を有するものである。

この改良下水道の使命効果を具體的に云ふと、雨水、汚水を直ちに排除し、浸水氾濫を防止し、卑濕の土地を改良し、河川運



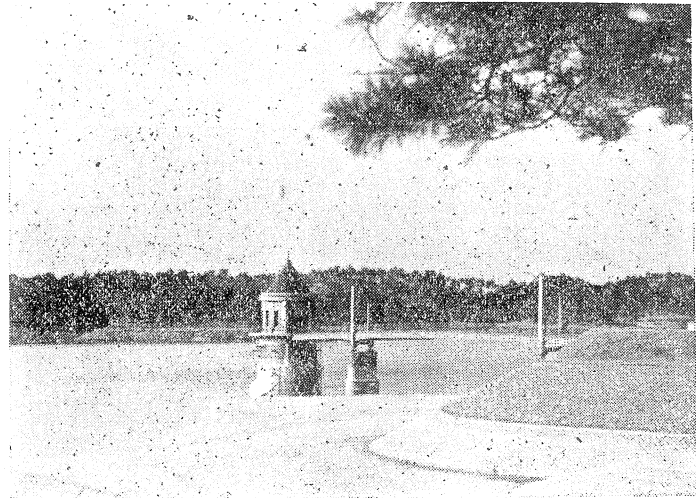
東京市京家市場

着々工事は進捗し、

河の汚濁を防ぎ、更らに水洗便所の接續によつて尿尿を衛生的に處理し、從つて惡疫の發生流行を豫防し、且白晝屎尿車屎尿船の横行による市民の不快感を除き、名實共に都市としての住心地良き市街地を現出せしむることにある。實に、市民の保健衛生上は勿論、都市の美觀上から見ても市民に貢獻する所は甚大で、都市構成上缺くべからざる重要施設である。明治四十四年事業を開始してから、本事業に投じた費用は約一億二千三百萬圓、下水道管渠敷設延長約百七十二萬米、一箇年の維持管理費は約百四十萬圓で、下水道事業は東京市事業中に於ても重要な地歩を占めてゐるのである。

東京市現在の下水道設計は明治四十一年に最初の原計畫が樹立され、その後大正十三年、昭和五年、更らに昭和七年の市域擴張に伴ひ再三計畫變更されつゝも汚水處分施設も完備せられつゝ來たので

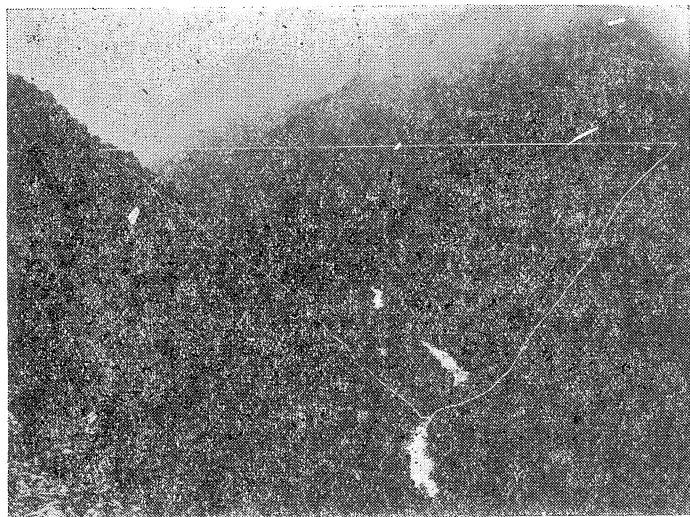
ある。舊市域内では以上の計畫に基いて明治四十四年下谷、



池 水 貯 口 山

淺草方面に改良下水道の敷設を始め、爾來關東大震災その他諸種の困難に遭遇したが、逐次下町山の手にこれを及ぼし今日の下水道網を現出するに至

長に於て約七割であつて、錢瓶町、業平橋、三の橋、木場の各唧筒場の機械設備の増補、月島唧筒場の新設、又汚水處分場にあつては、芝浦、砂町兩處分場に於ける設備の高級處理化、三河島處分場の増補等處分場は完成したのである。新市域に於ては計畫に對する進捗率は約六割三



點 地 堤 堰 池 水 貯 内 河 小

つた。全體の計畫に對するその進捗率は、下水道管渠敷設延

分の下水道管渠敷設を見つゝある。

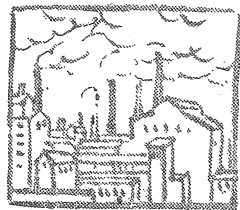
下水道が竣工してこれを利用し得るやうになれば、市長の告示によつてその下水道の排水區域内に土地又は家屋を有する者は宅地内の雨水及び汚水を疏通するために私設下水道を施設する義務を生ずる。又舊市域及び舊市の下水道に流入する新市域の一部は、水洗便所によつて尿尿の放流が可能であり、昭和十一年七月及び昭和十二年十二月の二回に亘り警視廳より麹町區外十區四百十五箇町に對し、汲取便所の禁止命令が公布せられ、今後急激にその増加が豫想されるこの汲取禁止命令の結果、昭和十七年三月末までに水洗便所に改造を要するもの約十一萬戸にして、これが施設助成方法として月賦制度が考慮されてゐる。巨費を投じた市の改良下水道も私設下水道や水洗便所の施設の完備を俟つて始めて完全にその使命、目的を達し得るのである。

最近五箇年間に於ける私設下水道及び水洗便所の施設狀況を示せば、私設下水道竣工戸數は昭和七年度八、五二四戸、同八年度一四、二八四戸、同九年度一四、八一五戸、同十年度一三、三八五戸、同十一年度一九、〇〇〇戸で、又水洗便所設置戸數は昭和七年度二、二三三戸、同八年度三、二六二戸、同九年度三、五五七戸、同十年度四、七六六戸、同十一年度六

時局下に於ける東京市と其見學 (清水觀光課長)

八二二戸である。

【見學適所】 芝浦汚水處分場 三河島汚水處分場。



行發館文右 式株
地番七十三目丁一町保神區田神市京東
〇七五七四京東替振・番四九七二(五)田神話電